

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和107年02月18日

計画の名称	札幌市強靱化計画に基づく災害時の地域輸送を支える道路整備や防災・減災対策の推進														
計画の期間	令和03年度 ～ 令和05年度（3年間）										重点配分対象の該当		○		
交付対象	札幌市														
計画の目標	災害時においても地域の輸送を支える道路や災害時拠点への補完路等を整備し、都市の強靱化に資する社会基盤の整備を推進する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,765	A	2,765	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度当初	令和4年度末	令和5年度末
1	重要物流道路に対する代替路へ交通転換を促すことで、災害時においても重要物流道路の輸送機能を強化する。			
	重要物流道路に対する代替路整備による輸送力の増強効果 ＝Σ（代替路整備後の交通量－代替路未整備時の交通量）/Σ代替路未整備時の交通量	0%	21%	21%
2	札幌市における開かずの踏切箇所数1箇所を0箇所に削減する。			
	札幌市における開かずの踏切の箇所数	1箇所	1箇所	0箇所
3	災害時拠点と緊急輸送道路をつなぐ補完路の整備により、災害時における道路ネットワーク機能を強化する。			
	災害時拠点へのアクセス強化 ＝Σ災害時拠点と緊急輸送道路をつなぐ補完路整備延長	0km	1km	1km

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	北海道	札幌市	直接	札幌市	S街路	改築	北24条大橋ほか1	道路改築 L=1. 3km	札幌市	■	■				1, 061		－
	A01-002	街路	北海道	札幌市	直接	札幌市	S街路	改築	苗穂駅連絡通（踏切道代替路）	道路改築 L=0. 6km	札幌市	■	■				1, 311		－
	A01-003	街路	北海道	札幌市	直接	札幌市	S街路	改築	篠路駅西通	道路改築 L=0. 2km	札幌市	■					128		－
	A01-004	街路	北海道	札幌市	直接	札幌市	S街路	改築	新琴似・屯田通	道路改築 L=0. 2km	札幌市	■					42		－
	A01-005	街路	北海道	札幌市	直接	札幌市	S街路	改築	新琴似3番通	道路改築 L=0. 6km	札幌市	■	■	■			223		－
										小計						2, 765			
										合計						2, 765			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
札幌市	令和6年度中
	公表の方法
	札幌市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・新規道路の整備により、並行する重要物流道路から交通転換が促され、輸送力の強化に寄与した。また、豊平川を挟んだ各地区が接続されたことにより、地域間の連携強化や防災性の向上に寄与した。 ・踏切道改良促進法に基づく「改良を実施すべき踏切道」に指定された踏切を廃止し、踏切道の迂回路を整備したことにより、災害時における円滑な避難や緊急輸送の確保に寄与した。 ・災害時拠点や緊急輸送道路に繋がる補完路の整備を進め、災害時に道路ネットワーク機能が強化され、防災性の向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・歩車道拡幅により、特に冬期間におけるバスの定時性確保や良好な歩行空間が創出され、快適な市民生活と都市機能の向上に寄与した。 ・市内の主要な道路ネットワークを形成する幹線道路の整備を進め、周辺道路の交通混雑が緩和し、地域間の交通の円滑化に寄与した。
○特記事項（今後の方針等）	
令和6年度に作成した「札幌市強靱化計画に基づく災害時の地域輸送を支える道路整備や防災・減災対策の推進（第2期）」に基づき、引き続き、災害時において地域の輸送を支える道路を整備し、都市の強靱化に資する社会基盤の整備を推進していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	重要物流道路に対する代替路整備による輸送力の増強効果		
	最 終 目標値	21%	最終目標値を達成した。
	最 終 実績値	21%	
2	札幌市における開かずの踏切の箇所数		
	最 終 目標値	0箇所	最終目標値を達成した。
	最 終 実績値	0箇所	
3	災害時拠点へのアクセス強化		
	最 終 目標値	1km	最終目標値を達成した。
	最 終 実績値	1km	

(参考図面) 防災・安全交付金事業

計画の名称	札幌市強靱化計画に基づく災害時の地域輸送を支える道路整備や防災・減災対策の推進		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和5年度（3年間）	交付対象	札幌市

